

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋数は多いため遊びの部屋、学習の部屋を分けられるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			マンツーマン対応もできるよう職員の数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			2階建てのため、階段に手すりがついてる。玄関に段差があり車いすの児童の受入れは難しい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			ミーティング・スタッフノート・ファイル・掲示等で情報共有や振り返りをしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート調査とともに保護者からの送迎に関する時間調整などの要望に可能な限り対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページに公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者機関の外部評価はないが、相談支援担当者と情報共有をしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部機関(療育おやこネットワークgiftさん)を招いた研修を実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			達成できそうな目標を設定し、児童の頑張りを支援できる内容を心がけている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			常勤が中心となり立案し、意見を出し合いプログラムを決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			前月までにプログラムを考え、内容に偏りがないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			土曜や長期休暇中は、社会科見学など、外出活動を多く取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々に合わせて制作や気持ちの切り替えのため外遊びを取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の流れを確認し、特に配慮が必要な事を再確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			問題があった場合すぐに報告しスタッフノート等で共有する体制になっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			保護者への連絡帳及び業務日誌に記録し職員間で情報共有している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングをし見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			内容が偏らないよう計画している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校と連携し、対応を共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当するケースなし。医療的ケアが必要な児童を受け入れる予定がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今年度は該当するケースなし。保護者の依頼があれば対応。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障害福祉サービス事業所から支援内容等の情報提供を、依頼があれば対応しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			行政からの情報をもとに研修、勉強会を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		特定の団体との交流はない。公園遊びや社会見学等で交流する機会がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		活動時間と重なっていない際は参加するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳・オンライン・電話で連絡共有をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			相談があった場合、対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合、都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現状、保護者にあまり必要とされていないため実施していない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決体制を構築している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月どんぐりん通信を作成・保護者にオンラインで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫に個人ファイルを保管し、十分に注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			見通しが持てるよう、どんぐりん通信やオンラインで連絡をとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			年に1回マニュアルを更新し配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的な訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に一度研修を実施している。厚生労働省の講義動画視聴等。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束が必要とされる児童の受け入れはないが、必要となった場合の対応方法を確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの情報のもと対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成し、職員間で共有している。